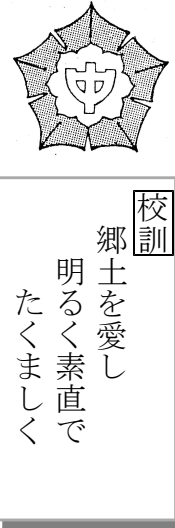


# 新潮



校訓

郷土を愛し  
明るく素直で  
たくましく

文責：校長 川内康範

## もうすぐ卒業式です。



3月に入るとさすがに寒さも和らぎ、春らしい気候になってきました。校庭の植物たちもきれいな花を咲かせています。そして、来週15日(水)は第12回卒業証書授与式です。卒業生の皆さんは、今どんな気持ちで学校生活を送っているのでしょうか。授業はあと何時間、給食はあと何回、登校するのはあと……。カウン

トダウンが始まっていますね。この校舎とも、友達たちとも、先生方とも、お別れの時が近づいてきています。一日一日を大切に過ごしてください。(この文章を書いた後に外を見ると雪が舞っていました！)



8日(水)朝の写真です。いつもの早朝ランニングの光景ですが、よく見てください。そうです。猶興館高校の立石博信君が写っていますね。高校入試のため高校生は学校が休みとのこと。朝ランに参加してくれるなんて嬉しいですね。そして、吉永先生と競って走るのかなと思って見ていると、1年生を励ましなが

## 世界の超S級危険生物4【緊急中継…！】に「掘れた島」より「濱口捕獲の2」を聞く

みなさんご覧になりましたか？「なんか違うなあ」というのが、私の第一印象です。ホームページの番組紹介には次のような文章が載っていました。

【長崎県の離島で島民を困らせる危険生物を捕獲せよ！】長崎県平戸市の沖合いに浮かぶ離島、的山大島では、ある生物が人の生活圏に侵入して地元住民が大変困っているという。その生物とはイノシシ！今回スタジオとその現場を中継で結び、イノシシ捕獲の最新機器を駆使し決死の作戦を実行する。濱口優と岡井千聖が現地に向かう。緊迫のリポートとは。イノシシにスポットを当てた番組だったから仕

方ないのかもしれませんが、大島についてあまり知らない人がこの番組を見たら、「大島はイノシシの島」という印象になってしまうのだろうなあと思いました。番組を作る時、何を切り捨てるかによって、内容は全然別なものになっていくんだと、改めて感じました。このことから、逆に私たちがテレビ番組を見るときは、「あまり信用できないぞ。」と思いつつながら見たほうが良いと教えられた気がしました。

## 大島村まがしゅ運営協議会(INSU)

6日(月)、まちづくり運営協議会が開催されました。私は学校代表としてメンバーになっていきますので、その内容を少しお伝えします。NPO法人になるように県に申請されていましたが、このたび正式に承認されたことでした。この協議会には、次の5つの部会があります。

- ・ 地域振興部会
- ・ 生活環境部会
- ・ 健康福祉部会
- ・ 安心安全部会
- ・ 地域づくり部会

大島の特徴を生かしながら、抱えている課題を解決し、さらに発展させていこうと、それぞれの部会で事業を計画しています。まちづくりがトツプダウンで行われるのではなく、地域のことがよく分かっている住民が声をあげ、住民自らが活動しようということなのかなと思います。各部会の話し合いは、和やかな中にも活発な意見が出され、大変盛り上がっていました。